Japanese association of educational psychology

同一絵本の繰り返し読み聞かせの分析（２）

－繰り返し読まれている時期と絵本の特徴－

○横山真貴子　無藤　隆　秋田喜代美
（お茶の水女子大学）　（立教大学）

【 問題と目的 】

絵本の読み聞かせにおいて、幼児が同じ絵本を何度も繰り返し読んでもらいたがることは、よく指摘されることである。我々は、家庭での日常的な読み聞かせにおいて、読み聞かせの回数が増すにつれ、母子の対話がどのように変化して行くのかを検討した(横山他,1997発心)。その結果、初めは内容理解の対話が多いが、回が増すにつれ他の対話が増加すること、対話のｲﾆｼｱﾃｨﾌﾞが母親から幼児へ移り、各絵本の場面毎に特有の安定したやりとりの型が形成されていくことが指摘された。

本研究では、更に以下の2つの観点から分析を行い、「絵本が繰り返し読み聞かされる」活動をより明らかに記述していくことを目的とする。(1)どのように繰り返されているのか：集中して、あるいは間隔を置いて繰り返されるのか。(2)繰り返し読まれている絵本にはどのような特徴があるのか。

【 方　法 】

(1)対象児と資料収集法：3~4歳代の4名(男女各2名)の家庭で、日常的に行われている就寝前の読み聞かせ場面を、母親に1年間ｶｾｯﾄﾃｰﾌﾟに録音依頼。

(2)分析方法：①どのように繰り返されているのか：収集された資料の中で、2回以上読まれている絵本を抽出し、繰り返された時期を調べる。②繰り返し読まれている絵本の特徴：①で抽出した絵本の特徴を記述する。

【 結果と考察 】

(1)どのように繰り返されているのか：以下、対象児毎に繰り返し回数毎の絵本数とその時期を示す。

A児(収録時期 3:1~4:4) 収録された資料は233日分、446冊分、142種類の絵本。Table 1に繰り返された回数毎の絵本数を示した。

Table 1　繰り返された回数毎の絵本数(冊)

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	13	14	15	16	20
冊数	58	27	20	13	7	1	4	2	1	1	4	1	1	1	1

次に繰り返された時期を20回の絵本に関して見てみると、8月上旬から9月上旬に11回、11月中旬から12月上旬に9回、3月初旬1回となっていた。同様に、他の多く読まれている絵本においても、短期間に集中して読まれる時期が、何回かに分けて見られた。

B児(3:4~4:3) 87日分、179冊分。6回1冊、5回2冊、4回3冊、3回10冊。全体的に電車の絵本が好んで読まれており、繰り返し読まれる絵本も、電車の図鑑、機関車ﾄｰﾏｽｼﾘｰｽﾞの絵本が多い。

C児(3:7~4:6) 126日分、208冊分。読まれた絵本の数は152冊。7、6、5回が1冊ずつ。3回4冊、2回30冊。繰り返しの時期は、多く読まれている絵本はA児と同様。2回の本は、1週間以内に読まれたものは6冊のみ。残りは1カ月以上の間隔があった。

D児(4:0~4:11) 257日分、132冊分。1日に童話の本の1章を読むことが多い。3回以上の本はなく、2回読まれた絵本が9冊。この内、連続して読まれた本は2冊のみ。残りは3~10カ月後に読まれている。

このように、回数多く読まれている絵本には、短期間に集中して読まれる時期が何回かに分かれて見られ、2回の本は、1回目と2回目が時間的に離れているものが多かった。

(2)繰り返し読まれる絵本の特徴：佐々木(1975)は、実子が1歳3カ月中によく見た絵本の内容として、(1)子どもが主人公で、その動作、表情がよく理解できるもの (2)自分の知っている動物や事物が描かれているもの を挙げている。本研究でも、繰り返しが顕著に見られたA児が、15回以上繰り返し読んでいた絵本は、「おでかけのまえに」(20回)「14ひきのやまいも」(16回)「はじめてのおつかい」(15回)であり、佐々木(1975)と合致する。また、B児では、電車が好きといった嗜好を反映し、電車を主人公とした絵本や図鑑が、C児では、「関けｺﾞﾏ」の合い言葉が繰り返される「ｱﾘﾊﾞﾊﾞと40人のとうぞく」(6回)やｽﾄｰﾘｰが繰り返し構造を持ち展開の予測が容易な絵本が多く読まれていた。

(3)まとめ：繰り返し読まれている絵本の特徴として、主人公に自分を置き換えられること、興味を持つ対象が描かれていること、展開の予測が容易なことが挙げられた。すなわち、幼児が絵本の世界に身を置き、ｽﾄｰﾘｰの先取りを含め能動的に場面に参加できるような絵本であると言える。また、繰り返される時期に関しては、一時期に集中しているのではなく、読みが集中する時期がいくつかに分かれて見られることが指摘された。再び読まれる契機に関しては、今後の研究が必要である。

NII-Electronic Library Service